

# ZOOM 503 GUITAR & BASS AMP SIMULATOR 取扱説明書

このたびは、ズーム503（以下“503”と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

503の機能を十分にご理解いただき、未永くご愛用いただくためにも、ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

株式会社ズーム 〒183-0022 東京都府中市宮西町2-10-2 ノアビル1階  
電話：0423-69-7111 ファクシミリ：0423-69-7115  
Printed in Japan 503-5010



## 1 特長

MTRへのライン録音やハイファイなオーディオシステムを使った演奏で、著名なギターアンプ/ベースアンプを鳴らしたサウンドを再現するコンパクトマルチエフェクターです。また、小さなギターアンプ、ベースアンプで迫力あるサウンドを実現できます。

ギターアンプ/ベースアンプの特性を決定するアンプシミュレーターと、スピーカーキャビネットの大きさ、箱鳴りの具合、集音マイクの位置まで再現するキャビネットシミュレーターを内蔵。多彩なサウンドバリエーションが得られます。

ギター/ベースの出力レベルに応じて選べる2種類のインプット端子を用意。シングルコイルからアクティブタイプのピックアップまで、幅広いギター/ベースに対応します。

コーラス、ディレイ、リバーブなど10種類のタイプを含む高品位なエフェクトを搭載。リアルな空間的響きを演出します。

ご自分の好みに合わせて、さまざまな設定がメモリーできる24種類のパッチの中から切り替えてお使いになれます。

ギター用オートクロマチックチューナーを内蔵。いつでもどこでも簡単にチューニングができます。また、チューナー機能を常時オフにすることも可能です。

AUX イン端子を装備。CDなどの外部オーディオ機器の出力端子を接続すれば、楽器の演奏とミックスしてOUTPUT端子から聴くことができます。

6LR61形乾電池（アルカリ）ACアダプターに対応した2電源方式を採用。

## 2 安全にご使用いただくためのお取り扱い上のご注意

### 安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味はつぎの通りです。

**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。



### 電源について

**警告** 本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池をご使用ください。

**ACアダプターによる駆動**  
ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA（ズームAD-0006）をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。  
ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。  
ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。  
長時間ご使用とならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

**乾電池による駆動**  
市販の6LR61 / 9V形乾電池（アルカリ）をお使いください。503は充電機能を持っていません。  
乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。  
長時間ご使用にならない場合は、乾電池を503から取り出してご使用ください。  
万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。  
ご使用の際は、必ず電池ボックスを開けてください。



### 使用環境について

**注意** 503をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。  
温度が極端に高くなる所や低くなる所  
湿度が極端に高い所  
砂やほこりの多い所  
振動や衝撃の多い所



### 取り扱いについて

**注意** 503は精密機器ですのでフットスイッチ以外のスイッチ類は足で踏むなど無理な力を加えないようにしてください。  
503に異物（硬貨や針金など）または液体（水、ジュースやアルコールなど）を入れないように注意してください。  
ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフしてから行ってください。  
移動させる場合は一旦電源をオフしてから必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。



### 改造について

**注意** ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。  
改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

### 使用上のご注意

#### 他の電気機器への影響について

503は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。  
しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。  
そのような場合は、503と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。  
デジタル制御の電子機器では、503も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

#### お手入れについて

503が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが落ちない場合は、濡らせた布をよくしぼってふいてください。  
クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

#### 故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにINPUT端子にさされているケーブルのプラグがACアダプターまたは電池を抜いて電源を切り、他の接続されているケーブル類も外してください。  
「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

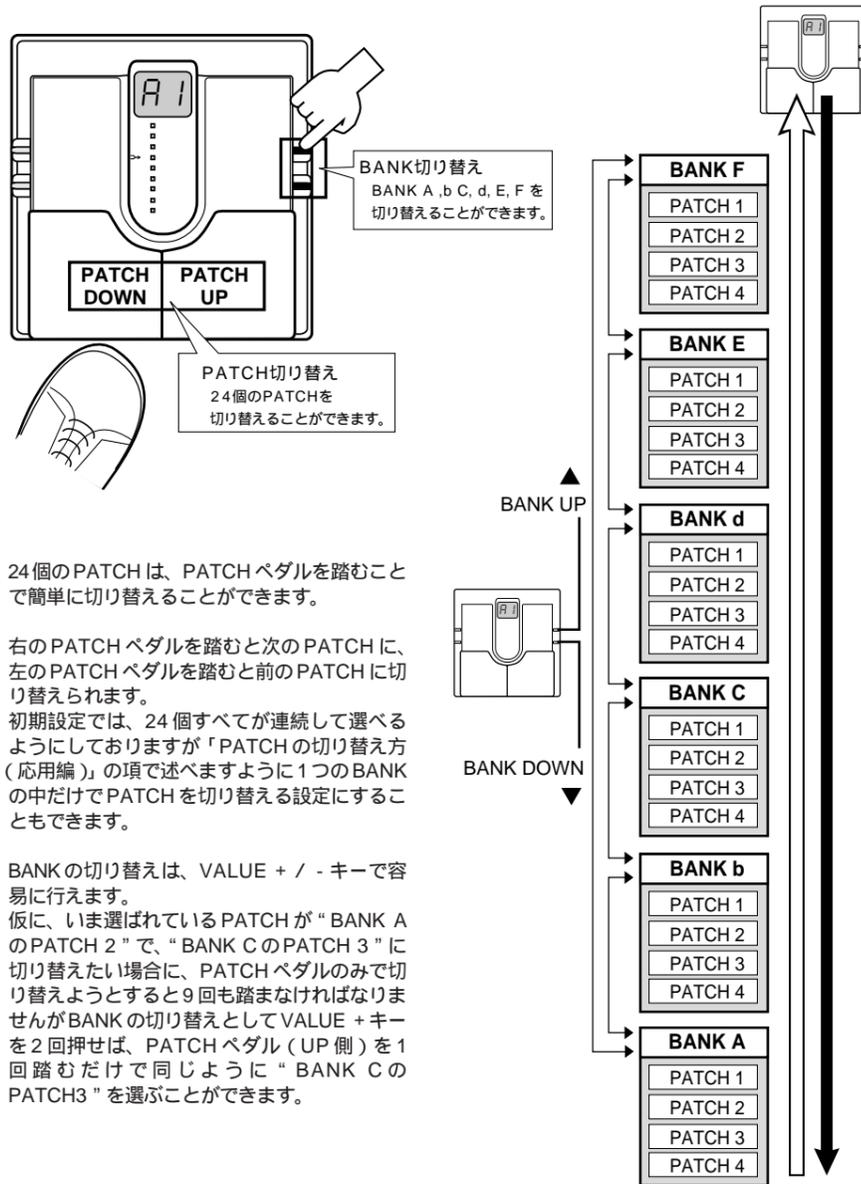
#### 保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。  
万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理、改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品（電池など）を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

## 7 PATCHの切り替え方



24個のPATCHは、PATCHペダルを踏むことで簡単に切り替えることができます。

右のPATCHペダルを踏むと次のPATCHに、左のPATCHペダルを踏むと前のPATCHに切り替えられます。  
初期設定では、24個すべてが連続して選べるようにしておりますが「PATCHの切り替え方(応用編)」の項で述べますように1つのBANKの中だけでPATCHを切り替える設定にすることもできます。

BANKの切り替えは、VALUE + / - キーで容易に行えます。  
仮に、いま選ばれているPATCHが「BANK AのPATCH 2」で、「BANK CのPATCH 3」に切り替えたい場合に、PATCHペダルのみで切り替えようとすると9回も踏まなければなりません。BANKの切り替えとしてVALUE + キーを2回押せば、PATCHペダル(UP側)を1回踏むだけで同じように「BANK CのPATCH 3」を選ぶことができます。

BANK HOLD OFF 時の BANK/PATCH の切り替わり

## 8 バイパス(ミュート) / チューナーの使い方

503は、エフェクトの音を一時的にオフの状態(これをバイパスと呼びます)にして、楽器の原音のみを出力させることができます。  
また、バイパスのときはインジケータ表示によるギター用オートクロマチックチューナー機能が動作します。  
なお、チューニングしている音を出力させたくない場合のためにミュート機能も搭載しています。



### バイパス, ミュート状態

2個のPATCHペダルを同時に踏むとバイパスもしくはミュートされます。  
バイパスさせたい場合は、踏んだPATCHペダルをすばやく離してください。



ミュートさせたい場合は、PATCHペダルを1秒間以上踏み続けてから離してください。



バイパスまたはミュートを解除する場合もPATCHペダルを踏みます。この場合は、どちらか一方を踏むだけで解除されます。バイパスまたはミュートが解除されると、それぞれの状態になる前に選ばれていたPATCHに復帰します。

### チューナー機能

503のお買い上げ時には、バイパス(ミュート)状態にしたときに、自動的にオートクロマチックチューナー機能が動作するように設定されています。503がバイパス(ミュート)状態のときにチューニングしたい弦を開放弦で弾くと、その音名に最も近い音名が、ディスプレイに表示されます。  
チューナー機能が動作しているときには、PARAMETER CURSOR インジケータが、チューニングの精度を計るメーターとして働き、微調整の目安として利用できます。



### チューナー機能をオフにするには

バイパス(ミュート)状態のときに、チューナー機能を動作させたくない場合は、プレイモードでSTOREキーとEDITキーを1秒間以上同時に押してください。  
これでチューナー機能がオフになり、電源をオフにしてもこの設定が記憶されます。設定を変更したときに、ディスプレイに「tunEr off」(チューナーオフ)と表示されます。  
チューナー機能をオンに戻すときも、同じ手順です。この場合は「tunEr on」(チューナーオン)と表示されます。

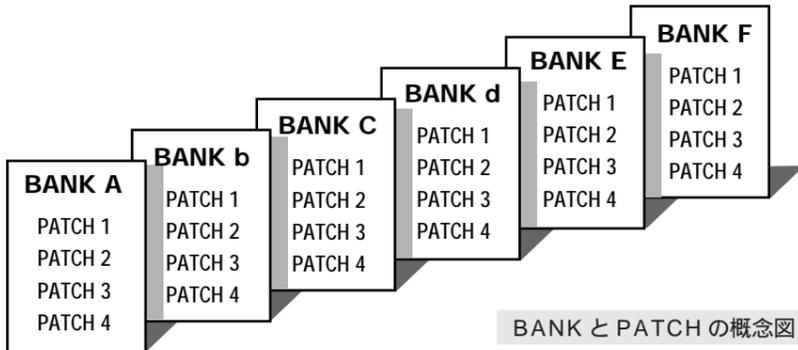


NOTE : ・ギターと503の間で他のエフェクターがオンになっている場合、チューナーが正しく動作しないことがありますので、ご注意ください。  
・ベースでチューニングを行うときは、12フレットのハーモニクスを使って行ってください。

### 3 BANK / PATCH とは？

**PATCH** : エフェクトの設定を一組にまとめたものをPATCH (パッチ)と呼びます。PATCHは、全部で24個あります。503には、あらかじめ24種類のPATCHが記憶されています。この設定は、お好みに合わせた作り変え (EDIT : エディット) ができます。

**BANK** : 4個のPATCHをひとまとめにした区切りをBANK (バンク)と呼びます。



BANK と PATCH の概念図

### 4 PATCH LIST

503は、24個のPATCHがあります。これらには、工場出荷の際にあらかじめ当社推奨の設定が記憶されています。

PATCHの内容は、お好みに合わせて自由に作り変えることができますし、呼び出すこともできます。

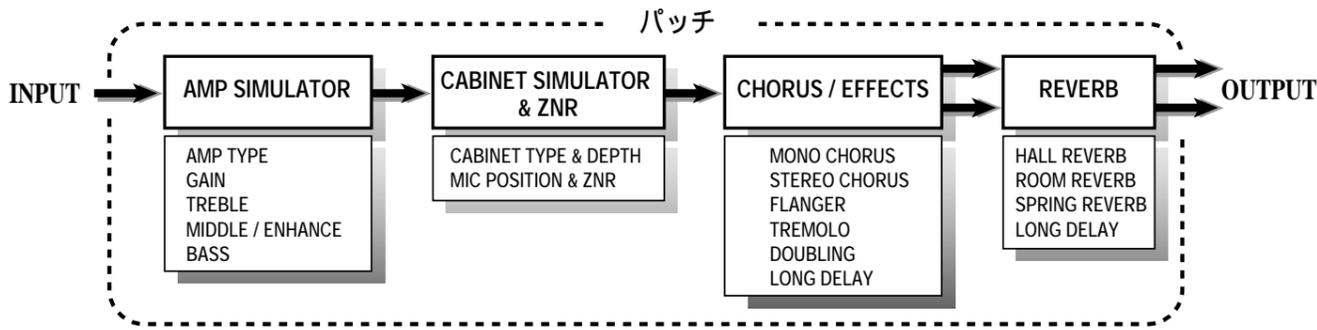
BANK Aとbでは、キャビネットシミュレーターをオンにすることで、LINEに適した音色が得られるように設定してあります。

各パッチのZNR (ズーム ノイズリダクション) のパラメーターは使用するギター、またはベースに合わせて、調整することをお奨めします。

PATCH NAME	AMP TYPE	COMMENT
<b>BANK A for GUITAR</b> ギターアンプで再生するのに適した設定です。		
1 900-DRIVE	MS DRIVE	スムーズな歪みでバッキングからリードまでフルカバーするMSサウンド
2 TWIN-LEAD	F DRIVE	ハードなテイストのブルースリード向けのF-AMPサウンド
3 BOX-BEAT	VX CRUNCH	これぞリアクトリアル サウンドの代名詞!
4 MKIII-CHORUS	BG DRIVE	BG AMPの仕上がりに近い歪みにリッチなコーラスを付加したサウンド
<b>BANK b for GUITAR</b> ギターアンプで再生するのに適した設定です。		
1 ROCK LEAD	PV DRIVE	ロック系リードサウンドをアンプのドライブ感を持たせてメイクアップ
2 SWEET BOX	BG DRIVE	目目のトーンを生かしたギターや弾き手を選ばない弾きやすいテイスト
3 JETS	MS DRIVE	フランジャーを効果的にミックスしたジェットサウンド
4 NUANCE CRUNCH	MS CRUNCH	シングルコイルにベストマッチなクラッチサウンド
<b>BANK C for GUITAR</b> LINEでギターアンプを鳴らしたような音色が得られる設定です。		
1 WILD-DIST	PV DRIVE	WILD&HARDなヘビーロック系サウンドです
2 STRAIGHT BACK	MS CRUNCH	さまざまなスタイルをカバーする王道的なクラッチサウンドです
3 HARDIST	MS DRIVE	ROCK系のリードサウンドをLINE用にシフトアップ
4 TREMOLO CLEAN	F CLEAN	トレモロを生かしたOLD AMPのテイストをもつクリーンサウンドです
<b>BANK d for GUITAR</b> LINEでCDやシーケンサ等のソースに馴染む音色が得られる設定です		
1 STUDIO LEAD	BG DRIVE	L.A.レコーディングスタジオのリードサウンドをシミュレート
2 LIGHT CRUNCH	VX CRUNCH	バッキングの強弱にも追従する滑らかなクラッチサウンドです
3 FUSION 335	BG DRIVE	滑らかな音色をシミュレートして、フュージョン向けのサウンドを演出
4 BACK&SOLO	J CLEAN	シンプルだが味わいの深いライン用のオールマイティなクリーンサウンドです
<b>BANK E for BASS</b> ベースアンプで再生するのに適した設定です。		
1 ROCK BASS MAN	F DRIVE	ベースアンプを適度にドライブさせたサウンドシミュレーションです
2 SW "SLAP" R	SW CLEAN	スラップ/フリッカー サウンドに適したリアルなサウンドです
3 BASS BOOSTER	F DRIVE	軽いブースト感のテイストを持つサウンドです
4 TRACE STANDARD	TE CLEAN	エッジの効いたスタンダードなサウンドです
<b>BANK F for BASS</b> LINEで再生するのに適した設定です。		
1 LINE SLAP	SW CLEAN	ラインチューニング用のスラップサウンドです
2 SOLO PLAY	AC DRIVE	バリエーション豊かなソロスタイルのテイストをシミュレート
3 WALKING	TE CLEAN	ラインチューニング向けのプロフェッショナルなベースサウンドです
4 MELODY	TE CLEAN	メロディアスなソロプレイ用のベースサウンドです

### 5 エフェクトの構成について

503のPATCH (パッチ)は、次に挙げる4つのモジュール (エフェクトの設定を分かりやすくする仮定の箱) から構成されています。各モジュールには音色の特徴などを細かく調節するための“パラメーター (コンパクトエフェクターのつまみのようなもの)”が用意されており、自分の好みに応じて自由に調節することができます。さらに調節したその状態は、1つのPATCHとして本体内に記憶させ、自由に呼び出すことが可能です。



**アンプシミュレーター :**  
アンプシミュレーターの種類や、GAIN、TREBLE / MIDDLE / BASS の3バンドEQを調節します。また、MIDDLEパラメーターの設定により、エンハンサー効果も得られます。

**キャビネットシミュレーター & ZNR :**  
キャビネットシミュレーターの種類、キャビネットに向けるマイクの位置、ZNR (ズームノイズリダクション) を調節します。

**コーラス / エフェクト :**  
コーラス、フランジャー、ディレイなどの効果を加え、音に変化を与えます。

**リバーブ :**  
ホール、ルーム、スプリングの3種類のリバーブとディレイの中から効果を選び、音に空間的な響きを与えます。

### 6 各部の名前とはたらき / 接続について

#### フロントパネル

##### TUNER (チューナー) インジケーター :

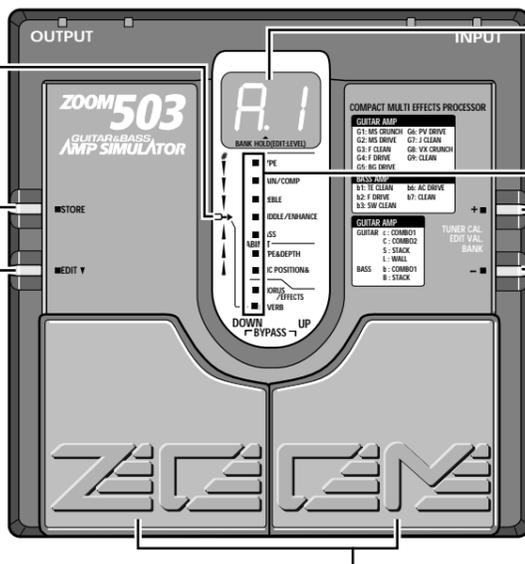
**プレイモード :**  
現在選ばれているパッチでREVERBモジュールがオンのときに、このインジケーターが点灯します。  
**バイパス (ミュート) / チューナー状態 :**  
このインジケーターが点滅してチューナーとして動作していることを表します。また、チューニングを微調節する場合のジャストチューニングの位置を表します。  
**エディットモード :**  
REVERBパラメーターが選ばれているときに点滅します。  
**BATTERY EMPTY WARNING表示 :**  
503を電池で使用する場合、このインジケーターがエディットモード時よりも短い間隔で点滅することがあります。これは電池が消耗していることを警告表示です。この場合は電池を新品に交換してください。

##### STORE (ストア : 保存) キー :

PATCHの内容を保存する際に、保存待機状態にさせたり、保存を実行させるときに使用するキーです。  
**DIRECT LOAD機能の設定 :**  
演奏をお楽しみいただく状態 (これを「プレイモード」と呼びます) でSTOREキーを1秒以上押し、DIRECT LOAD機能のオン / オフが切り替えられます (詳しくは「10. PATCHの切り替え方 (応用編 : DIRECT LOAD OFF)」をご参照ください)。

##### EDIT (エディット : PATCHを自分の好みに作り変える) キー :

プレイモードからPATCHを好みに合うように作り変える状態 (これを「エディットモード」と呼びます) に切り替えるときに使用するキーです。  
エディットモードでは、このキーで変更したいエフェクトパラメーターを選択します。また、エフェクトパラメーターLEVELが選ばれているときにEDITキーを押せば、エディットモードからプレイモードにもどることができます。  
**BANK HOLD機能の設定 :**  
プレイモードでEDITキーを1秒以上押し、BANK HOLD機能のオン / オフが切り替えられます (詳しくは「9. PATCHの切り替え方 (応用編 : BANK HOLD ON)」をご参照ください)。



##### DISPLAY (ディスプレイ) :

503を操作するのに必要な情報が表示されます。  
**プレイモード :**  
選ばれているBANK (A-F) と PATCH (1-4) を表示します。  
**エディットモード :**  
選択されているエフェクトパラメーターの値を表示します。なお、エディットモードでLEVELパラメーター (パッチの音量調節) が選ばれているときには、ディスプレイ中央のドット (・) が点滅します。  
**バイパス (ミュート) / チューナー状態 :**  
入力された楽器音の最寄りの音名を表示します。

##### PARAMETER CURSOR (パラメーターカーソル) インジケーター :

**プレイモード :**  
エフェクトモジュールのオン / オフを点灯で表示します。  
**エディットモード :**  
エフェクトモジュールのオン / オフを点灯と点滅で表示します。また、エディットの対象に選ばれているエフェクトパラメーターを点滅で表示します。  
**バイパス (ミュート) / チューナー状態 :**  
入力された信号のピッチの高低を表すチューナーのメーターとして動作します。

##### VALUE (バリュー : 値) + / - キー :

**プレイモード :**  
BANKの切り替えに使用します。  
**エディットモード :**  
エフェクトパラメーターの値を設定するときに使用します。  
**バイパス (ミュート) / チューナー状態 :**  
チューナーの基準ピッチを設定 (キャリブレーション) するときに使用します。

##### PATCH UP (右) / DOWN (左) ペダラー :

**プレイモード :**  
PATCHを切り替えるときに使用します。また両方を同時に踏むと、503がバイパス (ミュート) / チューナー状態になります。  
**エディットモード :**  
エディットの対象となるエフェクトパラメーターを選ぶときに使用します。また両方を同時に踏むと、エフェクトモジュールのオン / オフを切り替えられます。  
**バイパス (ミュート) / チューナー状態 :**  
バイパス (ミュート) / チューナー状態から抜けてプレイモードに戻るときに使用します。この場合はどちらか一方のみを踏めばプレイモードに戻ります。

##### AUX IN (AUXイン) 端子 :

外部オーディオ機器の出力端子 (ステレオミニ端子) を接続します。AUX端子にCDラジカセなどを接続すれば、INPUTに接続したギター (またはベース) とミックスさせてOUTPUT端子から聴くことができます。ミックスされる音量は出力機器側で調節してください。

##### OUTPUT (アウトプット) 端子 :

503の音を出す端子です。Y字ステレオシールドケーブルでMTRなどのステレオオーディオ機器に接続するか、ステレオヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを使えば夜中でもリアルなアンプサウンドで演奏が楽しめます。ステレオヘッドフォンをお使いになる場合は、若干音量が小さく感じられることがあります。その場合は、負荷インピーダンスの小さいヘッドフォン (負荷インピーダンス=32以下) をご使用ください。もちろん、モノラルのシールドコードでギターアンプやベースアンプに接続してご利用いただくことも可能です。

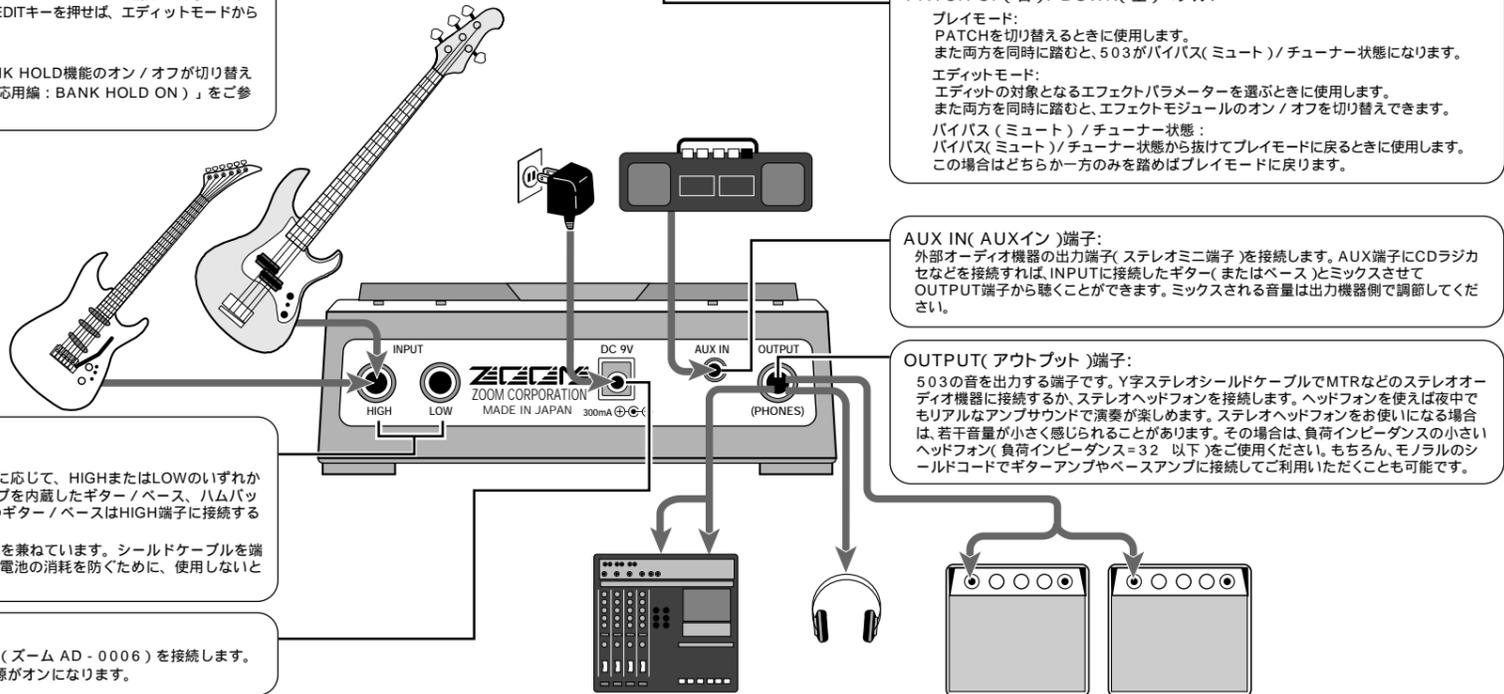
#### リアパネル

##### INPUT (インプット) 端子 :

ギターやベースを接続します。ギターやベースのピックアップ種類や出力レベルに応じて、HIGHまたはLOWのいずれかの端子が選ばれます。アクティブタイプのリアアンプを内蔵したギター / ベース、ハムバッキングタイプのギターはLOW端子に、それ以外のギター / ベースはHIGH端子に接続するとういでしょう。また、電池駆動時にはINPUT端子が電源スイッチを兼ねています。シールドケーブルを端子に接続すると、503の電源がオンになります。電池の消耗を防ぐために、使用しないときはケーブルを抜いてください。

##### DC IN (ACアダプター) 端子 :

DC9Vセンターマイナス300mAのACアダプター (ズーム AD-0006) を接続します。この端子にACアダプターを接続すると503の電源がオンになります。



# 11 PATCHの作り変え方(エディット)

503のお買い上げ時には、あらかじめ推奨設定として24個のPATCHが内部に記憶されています。しかし、これらのPATCHは503の持つ多彩な音色や能力のごく一部でしかありません。そこで、503には、お客様の好みに合わせてより多くの音色をお楽しみいただけるように、エフェクトパラメーター(PATCHの構成要素)の設定を変更して音色を作り替える機能が付いています。この作り替える操作を「エディット」と呼び、エディットを行うための状態を「エディットモード」と呼びます。

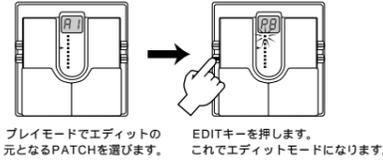
通常の演奏をお楽しみいただく状態(プレイモード)からエディットを行うための状態(エディットモード)に移るには、EDITキーを押すことで(1秒未満)離してください。

\* 1秒以上押すと、BANK HOLD機能のオン/オフ切り替え操作になってしまうので、ご注意ください。

プレイモードからエディットモードに入った直後は、常にAMP TYPEパラメーターのPARAMETER CURSORインジケーターが点滅し、同時にパラメーターの設定内容がディスプレイに表示されます。これは、現在AMP TYPEパラメーターがエディットの対象として選ばれていることを表します。

エディットモードでは、EDITキーまたは、PATCH UP/DOWNペダルを使ってエディットするパラメーターを選びます。503に含まれるパラメーターは、次の通りです。

- AMP TYPE : アンプの特性を選択します。
- GAIN : 歪みやコンプレッサー/リミッターの効き具合を調節します。
- TREBLE : 高音域を調節します。
- MIDDLE / ENHANCE : 中音域を調節します。またはエンハンサー効果を調節します。
- BASS : 低音域を調節します。
- CABINET TYPE & DEPTH : キャビネットの種類と箱鳴りの深さを調節します。
- MIC POSITION & ZNR : マイクの位置とZNR(ズームノイズリダクション)の感度を設定します。



- CHORUS / EFFECTS : コーラス、フランジャー、トレモロ、ダブルリング、ディレイの効果を選択します。
- REVERB : リバース、ディレイの効果を選択します。
- LEVEL : パッチ全体の音量を調節します。

EDITキーを押すごとに、PARAMETER CURSORインジケーターの点滅が、下のパラメーターへと移動していきます。ただしREVERBパラメーターの場合はTUNERインジケーターが、LEVELパラメーターの場合はディスプレイ中央のドット(.)がPARAMETER CURSORインジケーターの役割をします。

一番下のインジケーター(CHORUS / EFFECTS)が点滅した状態でEDITキーまたはPATCH DOWNペダルを押すとTUNERインジケーターが点滅し、REVERBパラメーターを調節する状態になります。さらにEDITキーまたはPATCH DOWNペダルを押すと、ディスプレイ中央のドット(.)が点滅し、LEVELパラメーターを調節する状態となります。

パラメーターの値の変更は、VALUE +/-キーで行います。パラメーターの内容については「12.エフェクトパラメーターの一览表」をご覧ください。

エディットモードを抜けてプレイモードに戻りたい場合は、LEVELが選ばれた(ディスプレイ中央のドットが点滅している)状態でEDITキーを押してください。パラメーターを変更した状態を保存しておきたい場合は、「13.PATCHの保存(ストア)」をご参照ください。

ディスプレイ中央のドットが点滅しているときにPATCH DOWNペダルを押すと、エディットモードのままAMP TYPEパラメーターに戻ります。



# 12 エフェクトパラメーターの一览表

<p><b>PARAMETER 1 : AMP TYPE(アンプタイプ)</b></p> <p>アンプの特性を選択します。G1~G9はギター用の設定、FLはギターとベース両方で使える設定、b1~b5がベース用の設定です。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、G1~G9 FL b1と値がスキップします。</p>	<p>G1 MS CRUNCH プリティッシュ系の真空管スタックアンプのクランチサウンドです。</p> <p>G2 MS DRIVE プリティッシュ系の真空管スタックアンプのドライブサウンドです。</p> <p>G3 F CLEAN ビルトイン型真空管アンプのクリーンサウンドです。</p> <p>G4 F DRIVE ビルトイン型真空管アンプのドライブサウンドです。</p> <p>G5 BG DRIVE 中域に粘りのある真空管コンポアンプのドライブサウンドです。</p> <p>G6 PV DRIVE ヘビメタルに最適なハイゲインの真空管スタックアンプのドライブサウンドです。</p> <p>G7 J CLEAN コーラスエフェクトにマッチするコンポアンプのクリーンサウンドです。</p> <p>G8 VX CRUNCH ブルースに最適な真空管コンポアンプのドライブサウンドです。</p> <p>G9 CLEAN ラインのギター用クリーンサウンドです。</p> <p>FL FLAT アンプシミュレーターのイコライザーだけを使い、たいときのフラットな設定です。ギター、ベース両方で利用できます。</p>	<p>b1 TE CLEAN 中低域が特徴的なクリーンサウンドです。</p> <p>b2 F DRIVE ビンテージジストあふれるドライブサウンドです。</p> <p>b3 SW CLEAN モダンなHi-Fi系クリーンサウンドです。</p> <p>b4 AC DRIVE 中高域が特徴的なドライブサウンドです。</p> <p>b5 CLEAN ラインのベース用クリーンサウンドです。</p>	<p>oF PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むと、ディスプレイがoFの表示になり、アンプシミュレーターがオフになります。もう一度PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むとオンに戻ります。</p>
<p><b>PARAMETER 2 : GAIN (ゲイン)</b></p> <p>AMP TYPEで選択されたタイプに応じて、ディストーション、コンプレッサー、リミッターのかけ具合を調節します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、1-9 10、10-19 20-29 30 というように値がスキップします。</p>	<p>AMP TYPEがG1、G2、G4、G5、G6、G8の設定では、ディストーションのかけ具合を調節します。数値が大きいくほど歪みが増えます。AMP TYPEがG3、G7、G9の設定では、コンプレッサーのかけ具合を調節します。数値が大きいくほど効果の感度が高くなります。値が1のときは効果がありません。</p>	<p>コンプレッサーのかけ具合を調節します。数値が大きいくほど効果の感度が高くなります。値が1のときは効果がありません。</p>	<p>AMP TYPEがb1、b3、b5の設定では、リミッターのかけ具合を調節します。数値が大きいくほど効果の感度が高くなります。値が1のときは効果がありません。AMP TYPEがb2、b4の設定では、ディストーションのかけ具合を調節します。数値が大きいくほど歪みが増えます。</p>
<p><b>PARAMETER 3 : TREBLE (トレブル)</b></p> <p>音色の高音域を調節します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、-10、-10-9 0、0-9 10というように値がスキップします。</p>	<p>マイナスの値で高音域が抑えられ、プラスの値で高音域が強調されます。</p>		<p>PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むと、ディスプレイが--の表示になり、アンプシミュレーターがオフになります。もう一度PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むとオンに戻ります。</p>
<p><b>PARAMETER 4 : MIDDLE (ミドル) / ENHANCE(エンハンス)</b></p> <p>音色の中域を調節します。またはエンハンサー効果を調節します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、-10、-10-9 E1、E1-E8 E9と値がスキップします。</p>	<p>マイナスの値で中域が抑えられ、プラスの値で中域が強調されます。</p> <p>E1-E9 エンハンサー効果(特定の周波数を強調して、音像をくっきりさせる効果)で強調される周波数帯域が変わります。</p>		
<p><b>PARAMETER 5 : BASS (ベース)</b></p> <p>音色の低音域を調節します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、-10、-10-9 0、0-9 10と値がスキップします。</p>	<p>マイナスの値で低音域が抑えられ、プラスの値で低音域が強調されます。</p>		
<p><b>PARAMETER 6 : CABINET TYPE &amp; DEPTH (キャビネットタイプ&amp;デプス)</b></p> <p>キャビネットシミュレーターの種類と箱鳴りの深さを同時に調節します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、c1-c9 C1、C1-C9 S1というように値がスキップします。</p>	<p>ディスプレイの左側の英文字はキャビネットの種類を表し、右側の数値は選ばれたキャビネットの箱鳴りの深さを表します。右側の数値が大きくなるほど、箱鳴りが深くなります。</p> <p>c1-c9 12インチスピーカーx1のコンボ型ギターアンプ用キャビネットをシミュレートします。</p> <p>c1-c9 12インチスピーカーx2のコンボ型ギターアンプ用キャビネットをシミュレートします。</p> <p>S1 10インチスピーカーx4のスタック型ギターアンプ用キャビネットを積み上げた状態をシミュレートします。</p>	<p>PARAMETER 7のMIC POSITION&amp;ZNRの設定値が0-9のとき、CABINET&amp;DEPTHパラメーターは無効になります。</p> <p>S1-S9 15インチスピーカーx1のベースアンプ用キャビネットをシミュレートします。</p> <p>WALL 10インチスピーカーx4のスタック型ギターアンプ用キャビネットを積み上げた状態をシミュレートします。</p> <p>COMBO 6.5インチスピーカーx4のベースアンプ用キャビネットをシミュレートします。</p>	<p>PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むと、ディスプレイがoFの表示になり、キャビネットシミュレーター&amp;ZNRのモジュールがオフになります。もう一度PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むとオンに戻ります。</p>
<p><b>PARAMETER 7 : MIC POSITION &amp; ZNR (マイクポジション&amp;ZNR)</b></p> <p>キャビネットに向けるマイクの位置のシミュレートと、ZNR(ズームノイズリダクション)の設定を調節します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、n0-n9 S0、S0-S9 F0と値がスキップします。</p>	<p>ディスプレイの左側の英文字はシミュレートするマイクの位置を表し、右側の数値はズーム独自のノイズリダクション「ZNR」の感度を表します。右側の数値が大きくなるほど、無演奏時のノイズが軽減されます。ZNRの値は、楽器音の消え際が不自然にならない範囲で、できるだけ大きな値に設定してください。</p> <p>n0-n9 キャビネットから近い位置のマイクで探ったサウンドをシミュレートします。</p> <p>S0-S9 キャビネットから斜めの位置のマイクで探ったサウンドをシミュレートします。</p> <p>F0-F9 キャビネットから離れた位置のマイクで探ったサウンドをシミュレートします。</p> <p>n0、S0、F0、0の時はZNRがオフになります。</p>	<p>50-59 キャビネットから斜めの位置のマイクで探ったサウンドをシミュレートします。</p> <p>60-69 キャビネットから離れた位置のマイクで探ったサウンドをシミュレートします。</p>	<p>PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むと、ディスプレイが0-9の表示になり、キャビネットシミュレーターがオフになります。もう一度PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むとオンに戻ります。</p>
<p><b>PARAMETER 8 : CHORUS / EFFECTS (コーラス/エフェクト)</b></p> <p>コーラス、フランジャー、ディレイなどのモジュレーション / 空間系エフェクトの種類を選択します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、c1-c9 C1、C1-C9 F1というように値がスキップします。</p>	<p>ディスプレイの左側の英文字は効果の種類を表し、右側の数値は選ばれたエフェクトのかけ具合を表します。</p> <p>c1-c9 モノラルコーラス効果です。数値が大きいくほどコーラス効果が強くなります。</p> <p>c1-c9 ステレオコーラス効果です。数値が大きいくほどコーラス効果が強くなります。</p> <p>f1-f9 フランジャー効果です。数値が大きいくほど変調スピードが速くなります。</p> <p>e1-e9 トレモロ効果です。数値が大きいくほどトレモロのスピードが速くなります。</p> <p>d1-d9 ダブルリング効果です。数値が大きいくほどショートディレイのディレイタイムが長くなります。</p> <p>l1-l9 ロングディレイ効果です。数値が大きいくほどロングディレイのディレイタイムが長くなります。</p>		<p>PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むと、ディスプレイがoFの表示になり、CHORUS / EFFECTSモジュールがオフになります。もう一度PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むとオンに戻ります。</p>
<p><b>PARAMETER 9 : REVERB (リバース)</b></p> <p>リバース、ロングディレイなど残響系エフェクトの種類を選択します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、H1-H9 r1、r1-r9 S1というように値がスキップします。</p>	<p>ディスプレイの左側の英文字は効果の種類を表し、右側の数値は選ばれたエフェクトのかけ具合を表します。</p> <p>H1-H9 ホールリバース効果です。数値が大きいくほどリバース効果が強くなります。</p> <p>r1-r9 ルームリバース効果です。数値が大きいくほどリバース効果が強くなります。</p> <p>S1-S9 スプリングリバース効果です。数値が大きいくほどリバース効果が強くなります。</p> <p>L1-L9 ロングディレイ効果です。数値が大きいくほどロングディレイのディレイタイムが長くなります。</p>		<p>PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むと、ディスプレイがoFの表示になり、REVERBモジュールがオフになります。もう一度PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むとオンに戻ります。</p>
<p><b>PARAMETER 10 : LEVEL (レベル)</b></p> <p>PATCHごとの音量レベルを調節します。</p> <p>VALUE +/-キーのどちらか一方を押せば値が1ずつ上下します。 VALUE +/-キーの両方を同時に押せば、1-9 10、10-19 20 というように値がスキップします。</p>	<p>値が大きいくほどPATCH全体の音量が大きくなります。</p>		

**HINT 1** 変更したいパラメーターの選択  
 「11. PATCHの作り変え方(エディット)」で説明したように、変更したいパラメーターはEDITキーを何度か押して選択しますが、PATCHペダルを用いても同じように選択することができます。  
 PATCH UPペダル(右側のPATCHペダル)を踏むと、下から上へインジケーターの点滅(選択されているパラメーター)が移動します。PATCH DOWNペダル(左側のPATCHペダル)を踏むと、上から下へインジケーターの点滅が移動します。

**HINT 2** モジュールのオン/オフについて  
 アンプシミュレーター、キャビネットシミュレーター&ZNR、エフェクトの各モジュールに含まれるパラメーターを選んでいるとき、PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むことでそのモジュールのオン/オフを切り替えることができます。オン/オフを切り替えた状態はPATCHに記憶することができます。  
 アンプシミュレーター、キャビネットシミュレーター、ZNR、エフェクトのオン/オフを切り替えるには、エディットモードでAMP TYPE / TREBLE / MIDDLE/ENHANCE / BASSのいずれかのパラメーターが選ばれているとき、PATCH UP / DOWNペダルの両方を同時に踏むとアンプシミュレーター、キャビネットシミュレーター、ZNRの表示は、TYPEでは「oF」、その他では「-」となります。  
 キャビネットシミュレーター&ZNRのオン/オフを切り替えるには、エディットモードでCABINET TYPE & DEPTH / MIC POSITION & ZNRのいずれかのパラメーターが選ばれているとき、PATCH UP/DOWNペダルの両方を同時に踏むと、キャビネットシミュレーターがオフになります(この操作でZNRは影響を受けません)。ディスプレイの表示は、CABINET TYPE & DEPTHでは「oF」、MIC POSITION & ZNRでは「0」-「9」(ZNRの設定値のみ)となります。  
 コーラス/エフェクトのオン/オフを切り替えるには、エディットモードでCHORUS / EFFECTSのパラメーターが選ばれているとき、PATCH UP / DOWNペダルの両方を同時に踏むと、エフェクトのモジュールがオフとなります(ディスプレイの表示は「oF」となります)。  
 いずれのモジュールでもオフの状態から再度PATCH UP / DOWNペダルを同時に踏むと、VALUE +/-キーのどちらか一方を押すと再びオンになり、パラメーターは元の設定値(オフにする直前の値)に戻ります。

**HINT 3** パラメーター設定のショートカットについて  
 通常パラメーターの設定は、VALUEキーで値を1ずつ上下させて調節を行いますが、操作を簡単にするためにショートカット(近道)操作が用意されています。  
 ショートカット操作を行うには、エディットモードでVALUE +/-キーを同時に押

**HINT 4** マスターレベルの調節  
 503では、総合的な音量を決定するマスターレベルを調節することができます。マスターレベルを設定するには、プレイモードで、VALUE +/-キーを同時に1秒間以上押し続けます。すると、現在のマスターレベルが1秒間ディスプレイに表示されます。レベルを変更したい場合は、マスターレベルの値が表示されている間に、VALUE +/-キーまたはVALUE +/-キーを用いて希望の音量になるように調節します。  
 マスターレベルの調節できる範囲は0-50です(初期設定値は40)。なお、マスターレベルの値は記憶されません。電源をオンすることに再度調節してください。

## 9 PATCHの切り替え方(応用編：BANK HOLD ON)

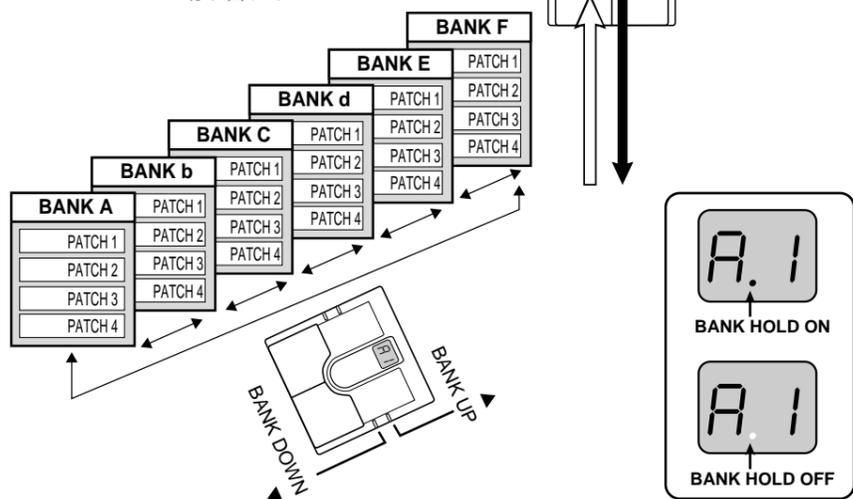
503のお買い上げ時には、BANKの区切りとは無関係にPATCHペダルを踏むとすべてのPATCHを順番に切り替えられるような設定となっています。

BANK HOLD (バンクホールド)機能は、24個のPATCHをBANKごとに分けて4個ずつ操作する機能です。この機能がオンのときにPATCHペダルを踏むと、同じBANK内で4個のPATCHが順番に切り替わります。

BANK HOLD機能をオンにする場合は、プレイモードでEDITキーを1秒間以上押し続けてください。ディスプレイ上のBANK HOLDインジケータが点灯して機能がオンになったことを示します。BANK HOLD機能をオフする場合も、EDITキーを1秒間以上押し続けてください。インジケータが消灯します。

BANKの切り替えは、VALUE + / - キーで行います。

BANK HOLD ON 時のBANK/PATCHの切り替わり



## 10 PATCHの切り替え方(応用編：DIRECT LOAD OFF)

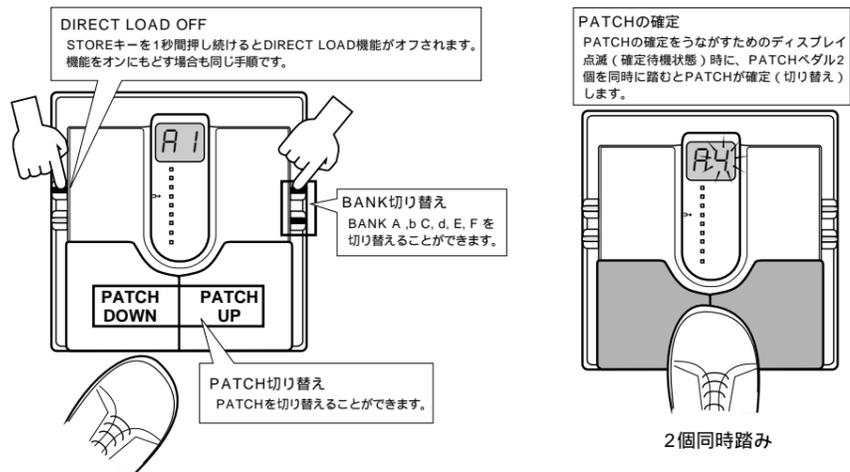
工場出荷時は、PATCHペダルを踏むとすぐにPATCHが切り替わるような設定となっています。このようなPATCHの切り替え方法をDIRECT LOAD (ダイレクトロード) がオンされていると呼びます。

1回のアクションでPATCHを切り替えられるので、並んでいる順番に切り替えるにはとても便利ですが、切り替え先のPATCHが離れている場合、不要なPATCHの音色を再生してしまいますので不便さを感じさせることがあります。

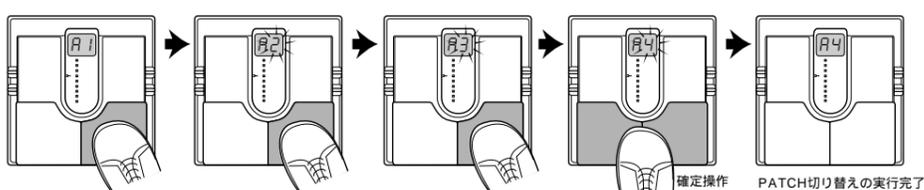
その場合、ここで説明するようにDIRECT LOAD機能をオフして利用されると便利です。DIRECT LOAD機能がオフされていると、確定操作を実行しない限り、BANKやPATCHをどのように切り替えても、現在選ばれているPATCHの音色が保持されます。

例えば、PATCH1からPATCH4に切り替える場合など、DIRECT LOAD機能がオンのときは、PATCH UPペダルを踏むたびに、PATCH2, PATCH3の音色を再生してPATCH4に切り替わりますが、DIRECT LOAD機能がオフの場合は、PATCH UPペダルを踏むごとにディスプレイの文字が点滅してPATCHの確定待ち状態であることを示します。PATCH4の点滅表示で確定操作をすると、そこで初めて音色が切り替わります。つまり、途中のPATCH2, PATCH3の音色は再生されません。

DIRECT LOAD機能のオン/オフは、プレイモードでSTOREキーを1秒間以上押すことで切り替えられます。DIRECT LOAD機能がオフされている時のPATCH確定は、PATCHペダルを2個同時に踏むことで実行されます。



例) PATCH1からPATCH4に切り替える場合



## 13 PATCHの保存（ストア）

お客様が作り変えた（エディットした）PATCHは、保存（ストア）しない限り別のPATCHを選んだり電源をオフしたりするとエディット前の状態にもどってしまいます。ここでは、エディットしたPATCHのストアについて説明します。

ストアは、プレイモードでもエディットモードでも行えます。

操作は、いたって簡単です。

まず、好みに合わせてエディットしたPATCHの状態、STOREキーを押してください。

プレイモードでストアする場合は、STOREキーを1秒以内に離してください。

1秒以上押し続けると、DIRECT LOAD機能の設定になってしまいます。

ディスプレイが点滅します。この状態をストア待機状態と呼びます。

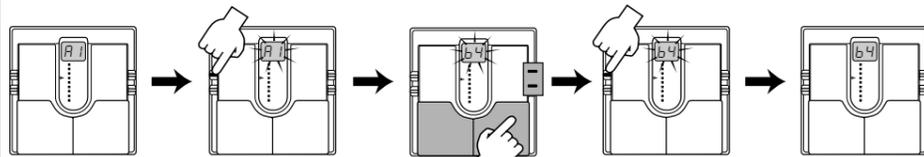
ストアを中止する場合は、この状態でEDITキーを押してください。

つぎに記述されている操作を実行すると、PATCHの設定は変わってしまい、元にもどせません。

ストア待機状態で、そのままSTOREキーを押すと、先ほどまでエディットしていたPATCHに保存されます。

またストア待機状態で、PATCHの切り替えを行ってからSTOREキーを押すと、ここで選んだPATCHに保存されます。

先ほどまでエディットしていたPATCHは、エディット前の状態にもどります。



まず、PATCHをエディットします。

STOREキーを押します。（ストア待機状態）

ストアしたいPATCHを選びます。

もう一度STOREキーを押して実行します。

ストア完了

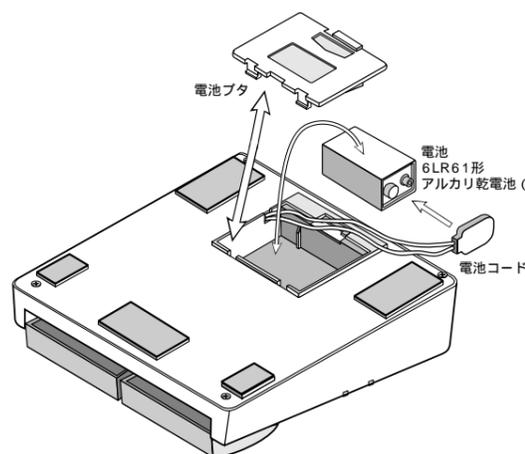
## 14 電池の交換について

電池駆動時にチューナーインジケータが点滅する場合は、電池が消耗しています。

つぎの手順で電池を交換してください。

電池は、6LR61形乾電池（アルカリ）をご使用ください。

ほかの電池を使用になられた場合、連続使用可能時間が短縮されることがあります。



- 503本体を裏返しにして、電池ブタを開けます（爪を押して引っ掛かりを外してブタを上を持ち上げてください）。
- 電池ケースから電池を出して、電池コードを外します（外す際は、コード自身を引っ張らずに結合端子部分を持って外してください）。
- 新しい電池を電池の極性（+/-）に注意して電池コードに接続し、正しく電池ケースに入れます。
- 電池コードをはさまないように注意して、電池ブタを閉めてください（電池ブタの爪がきちんと引っ掛かるようにしてください）。

## 15 PATCHを工場出荷時の状態にもどす方法

503は、工場から出荷をする際に当社推奨のPATCHを24個記憶しています。

この設定は、お客様が設定を書き換えてストアされた後でも復帰させることができます。

そして、この設定を復帰させる操作のことをリコールと呼びます。特に、24個すべてのPATCH設定とBANK HOLD機能やDIRECT LOAD機能の設定を初期化するなどすべてを元にもどすことをオールリニャライズといえます。

リコールは、通常の操作とは独立しています。プレイモードやエディットモードから直接切り替えることはできません。特別な方法で電源をオンする操作でのみ、リコール操作が使用できるようになります。

リコール操作は、つぎの手順で行ってください。

- 電源を一旦オフにします。
- STOREキーを押しながら、電源をオンにします。
- ディスプレイに、AL（AL）を点滅表示します。
- オールリニャライズを実行させる場合は、この状態でSTOREキーを押してください。表示が素早く点滅してオールリニャライズを実行します。完了すると自動的にプレイモードにもどります。
- 特定のPATCHの設定だけをリコールさせたい場合は、上記3.の状態での通常のPATCH切り替えと同じ操作をして、希望のPATCHを選んでください。表示が素早く点滅して指定のPATCHを該当のPATCHに復帰させます。
- 個別のリコールは、継続して行うことができます。リコール操作から抜きたい場合は、EDITキーを押してください。プレイモードに切り替わります。また、電源をオフすることでリコール操作から抜けることができます。

## 16 製品仕様

エフェクト：	32種類 アンブタイプ	ギターアンブ	MS CRUNCH, MS DRIVE, F CLEAN, F DRIVE, BG DRIVE, PV DRIVE, J CLEAN, VX CRUNCH, CLEAN
		FLAT	
		ベースアンブ	TE CLEAN, F DRIVE, SW CLEAN, AC DRIVE, CLEAN
	キャビネットタイプ	ギターキャビネット	COMBO 1, COMBO 2, STACK, WALL
		ベースキャビネット	COMBO, STACK
	ZNR（ズームノイズリダクション）		
	コーラス / エフェクト	コーラス, ステレオコーラス, フランジャー, トレモロ, ダブリング, ロングディレイ,	
	リバーブ	ホール, ルーム, スプリング, ロングディレイ	
	最大同時使用数	5エフェクト	
BANK / PATCH：	6BANK x 4PATCH = 24PATCH（書き換え、保存可能）		
Analog / Digital 変換：	18bit 128倍オーバーサンプリング		
Digital / Analog 変換：	16bit リニア		
サンプリング周波数：	31.25kHz		
インプット：	ハイインプット 標準モノラルフォンジャック（入力インピーダンス = 470k） 入力レベル：シングルコイルタイプ エレクトリックギター / ベース用		
	ローインプット 標準モノラルフォンジャック（入力インピーダンス = 470k） 入力レベル：ハムバックング, アクティブピックアップ エレクトリックギター / ベース用		
AUX IN	ミニフォンジャック / ステレオ（入力インピーダンス = 10k）		
アウトプット：	ライン / ヘッドフォン兼用アウトプット 標準ステレオフォンジャック （最大出力レベル = +6dBm / 出力負荷インピーダンス = 10k 以上時）		
ディスプレイ / インジケータ：	2桁7セグメントLED		
	チューナーインジケータ、パラメーターカーソルインジケータ		
電源：	別売 ACアダプター DC9V センターマイナス（ズームAD-0006） 電池 6LR61形乾電池（アルカリ）x 1個 連続使用 約4時間		
外形寸法：	147mm（W）x 157mm（D）x 49mm（H）		
重量：	480g（電池含まず）		

・0dBm = 0.775Vrms

・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。